

【ノートを使った受験勉強方法で“文の作成力”を鍛える】

1. 論文（答案）を書くための作業

試験時間の中で論文（答案）を書き終えるには、「解答を考えること」、「頭の中に浮かんだ解答を文に変換すること」、「変換したことを具体的な文で答案用紙に書くこと」のそれぞれの作業を確実に行う必要があります。

「解答を考えること」については、工夫して勉強することで解答を考えるための技術や知識を確実に学べばこの作業も確実にできます。

「頭の中に浮かんだ解答を文に変換すること」については、日常業務の中やノートを使った受験勉強方法で“文に変換する力”を鍛えることでこの作業が確実にできます^{注1)・注2)}。

「変換したことを具体的な文で答案用紙に書くこと」についても、日常業務の中やノートを使った受験勉強方法で“文の作成力”を鍛えることでこの作業が確実にできます^{注3)}。

注 1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

注 2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「ノートを使った受験勉強方法で“文に変換する力”を鍛える」の資料を参照のこと

注 3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「日常業務の中で“文の作成力”を鍛える」の資料を参照のこと

2. “文の作成力”の鍛え方

日常業務の中だけではなくノートを使った受験勉強方法でも文の作成力を鍛えることができます。この勉強方法では、学んだことを自分の言葉に置き換えてからこれを文でノートに書くからです。

ノートに書くときには、学んだことを走り書き程度で書くことを推奨しています^{注2)}。走り書き程度で書くことで多くのことをノートに書くことができるからです。多くのことを書くことで文の作成のトレーニングが多くできます。文を数多く書くことも文の作成力を鍛えるうえで重要なことです。

走り書き程度で書くとき、文の正確性を考えて内容を書くこと、例えば、文法を考えて書くことや内容が明確に伝わるように書くことを意識して書くこと一層文の作成力を鍛えることができます。

以 上